



三歳五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帶性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。

2008.7.10 Vol. 117



特集

19年度就職状況 就職率97.8%をマーク



特集 卒業生の就職状況	1
充実した就職支援	2
新入生合宿オリエンテーション	3
地域連携活動	4
学生の活動	5
研究の今	7
教育の今	7
学内トピックス	9
施設のご案内	11
インフォメーション	12
学友会短信	13
国際交流瓦版	13
学内人事	14
財務状況	14
平成21年度 入学試験の概要	15

19年度就職率97.8%

今春卒業生の就職率は97.8%に達し、昨年を0.5ポイント上回りました。また、公務員試験への応募者数、合格者数ともに増加し、卒業生にとっては追い風の中での就職活動であったといえるでしょう。

本年もこれまでのところ企業の採用意欲は旺盛で、採用活動を早める企業も増加し、積極姿勢が続

いています。

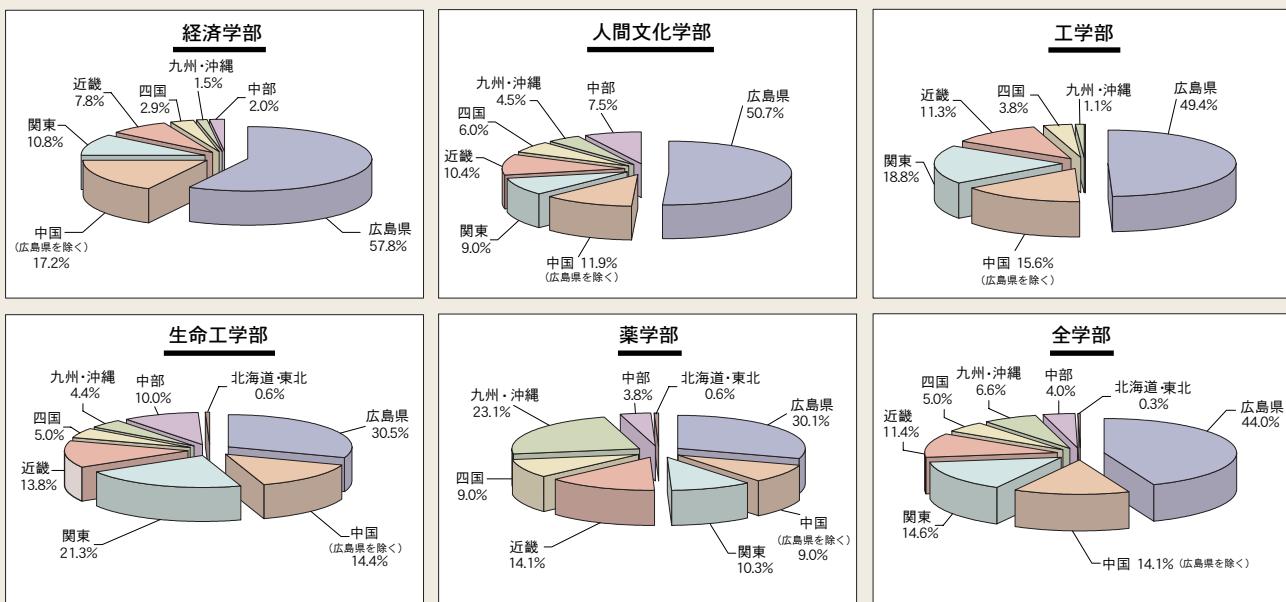
しかしながら今後については、世界的な金融不安や原油高騰などの不安要因の影響で、国内経済も景気後退の局面を迎えて先行き不透明になっており、雇用への影響が懸念されます。

就職活動を継続している4年次生は早期の内定獲得に向けて全力

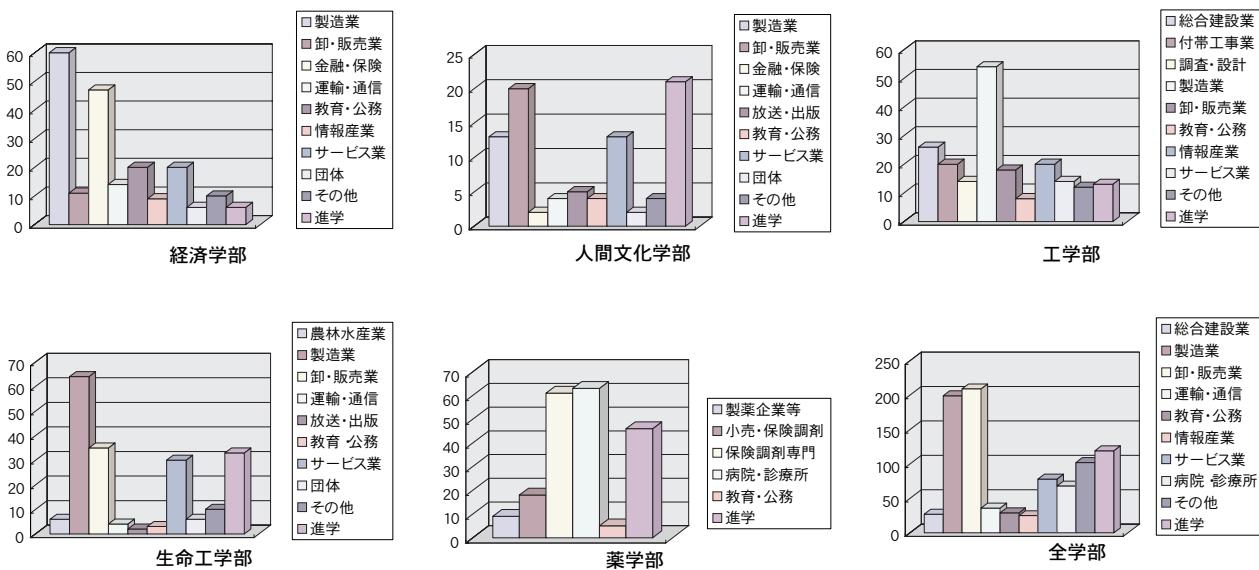
を傾けてください。また、3年次生までの学生は、どのような環境にも対応できる実力を身につけてください。1,2年次の早期から自分の進路に即した対策を行うことが大切です。

昨年度卒業生の各学部の地域別・業種別(大学院等進学を含む)の就職状況は、下のグラフの通りです。

平成19年度 地域別就職状況



平成19年度 業種別就職状況



充実した就職支援

福山大学では、1年次からのキャリア教育をベースにして、3年次には就職活動の基本から準備・対策、実践面まで、きめ細かい就職支援を行っています。

1. 就職ガイダンスとその内容

第1回就職ガイダンス 5月

- ①「職業選択」の意義、「自己理解」と「仕事理解」の大切さ
- ②就職試験対策

第2回就職ガイダンス 5~6月

- 「一般常識テスト」を実施
- 自己の基礎知識・能力を把握する
《Web登録》 6月
- 就職サイトの活用方法

第3回就職ガイダンス 7月

- 「フォローアップ講座」(外部講師による)
- ①「一般常識テスト」の結果の生かし方
- ②採用試験の評価の観点、基準について

第4回就職ガイダンス 9月
①企業の採用活動に合わせた就職活動
②企業選択、企業研究の進め方
③「進路希望票」の作成準備

第5回就職ガイダンス 10月

「SPI適性検査」を実施

- ①採用試験に頻出。その試験対策
- ②自己の能力や適性の客観的把握

第6回就職ガイダンス 11月

「フォローアップ講座」(外部講師による)

- ①「適性検査」の結果の生かし方
- ②「自己分析」の進め方と「自己PR」「志望動機」

の書き方

第7回就職ガイダンス 11月

- ①就職活動のための基本的なルールとマナー
- ②就職活動のポイント

第8回就職ガイダンス 11・12月

「就職活動体験発表会」

先輩の体験に学び、就職活動に生かす

2. 就職対策講座

(1)「新聞の読み方講座」 10月

時事問題対策に生かす

(2)「文章の書き方講座」 11月
小論文・作文試験対策
(3)「履歴書・エントリーシートの書き方講座」
11~1月

3. 「保証人との就職懇談会」

経済学部・人間文化学部 11月
工学部・生命工学部 1月
ゼミ・卒研担当者と保証人及び学生との2者
又は3者による進路相談会

4. 学内「合同企業説明会」 2・3月

就職戦線のスタート。県内外の優良企業を招き企業説明会を開催。昨年度は、2月19日と3月10日・11日の3日間実施(243社参加)。本年度も開催予定。

5. 「単独企業説明会」

4年次の4月以降は、希望する学生を対象に個別の企業説明会を開催。内定の早期獲得を支援。

採用内定者のコメント



人間文化学部 心理学科
古谷 知子
内定先 郵政グループ
郵便事業株式会社

本格的に就職活動を始めたのは1月からです。種々の企業説明会に参加し、その中から何社かを絞って企業説明会に参加しました。

会社を絞る段階で最も重視したのは、「この会社でずっとやっていけるか」でした。いくら条件が良くても自分に合っていないければ長くは続かないと思っていたからです。この企業研究は面接の時に大いに役に立ちました。

就職活動で一番苦労したのはやはり面接です。面接官の目を見て話すことは日頃から心がけていましたが、活動し始めの頃は声が震えたり、早口になってしまったりして苦労しました。

就職活動には、友達と面接の練習をしてから臨んでください。



工学部 機械システム工学科
井手口 達也
内定先 株式会社
シギヤ精機製作所

本格的に活動を始めたのは1月からです。合同企業説明会に参加し、改めて企業研究や自己分析の大切さを知りました。筆記試験対策は、3年の夏休み頃からSPIを中心に、特に、非言語問題を何度も勉強しました。

企業研究では、会社見学が有効でした。パンフレットやホームページ等にはないことを知ることができ、より一層会社のことが分かりました。面接の際にも、質問したり自分の目で見たことを会社の特色として話すことができ、それが内定につながったと思います。

面接対策では、友達と入室から退室までのマナー、挨拶の仕方などを何度も練習しました。そのため実際の面接では緊張しましたが、自信を持って対応できました。就職活動で大切なことは、事前の準備につきると思います。



薬学部 生物薬学科
山根 優希
内定先 武田薬品工業
株式会社

3年次生の夏、MRインターンシップに参加したことが就職活動に大変役立ちました。MR職への理解が深まり、早くからスムーズに就職活動に入れ、採用試験でアピールポイントになりました。

就職活動で大事だと思ったのは友達でした。私の場合はインターンシップでできた友達が、目標も同じで、モチベーションを高めあい情報交換したり、時には息抜きもし、大きな支えになりました。

活動中は、あいさつをすることと気持ちに余裕を持って行動することを心がけました。また、春休み中は自己分析に専心し、自分の強み・弱みなどを明言できるようになりました。《学生生活で頑張ったこと》は、どの会社でも聞かれることがあります。肝に命じて4年間を過ごして下さい。

20年度4月から、必修課目「キャリアデザインI」が4学部でスタート!

この「キャリアデザインI」の必修科目は、経済学部、人間文化学部、工学部、生命工学部の4学部とキャリアセンターが連携して行う、初めての授業です。1年次生を受講対象としており、内容は各学部が担当する約半分の授業回数の他に、キャリアセンターが7~9回担当します。授業内容は、以下の通りです。

内容 (キャリアセンター担当)

- ・1年次生から「充実した大学生活」と、社会進出のための「就職」を動機付け
- ・「心の悩み」、並びに「ストレス解消法」について
- ・夢や目標を持つことの大切さ
- ・今、社会から求められる人物像について
- ・自己の生涯設計についての、キャリアプランの立て方
- ・授業を通して、保証人と学生との対話を促進

また、社会進出に際し、本人が周囲の人々に与える第1印象から成功へ結びつけるために、業界で最大手の化粧品メーカーに協力を得て、「社会人基礎力」としての基本マナー、身だしなみ、健康・美容の自己管理、コミュニケーション能力に関する講座も、一部導入しています。

学生の受講態度はすこぶる真摯であり、熱心にメモをとったり、グループディスカッションなどにも積極的に参加しようという姿勢が見られます。

この授業の指定教科書である、「18歳からのキャリアプランニング」(副題:これから的人生をどう企画するのか)は、およそ670冊の販売実績となり、また、本教科書の第4章は、「ご両親・保護者

の皆さんへ」という内容であることから、本授業を通して、本学の保証人の方々と、学生一人ひとりが、これからの学生本人の「生き方」について、親子の間で対話を促進していただくことへの環境作りも行っています。それは、本授業の目指す大切な目標のひとつです。



新入生合宿オリエンテーション

新しい仲間と出会えた!

午前中に学校で履修指導を受けた後、経済学部新入生総勢270名は、福山市沼隈町にある「みろくの里」に行きました。最初は知った人もおらず、夕食が終わっ

てからも気まずい雰囲気が続きましたが、時間割作成や入浴などをしているうちに徐々に打ち解けてきました。2日目のソフトボールの時間では、みんなと一緒に運動したことでも楽しい時間を過ごすことができました。この2日間で新しい仲間と出会えたことが一番の収穫です。



経済学部 占部 大輔

ふれ愛にこころ開く！

4月8日。例年より日差しの強かったこの日、私たちはバスに乗り「ふくやまふれ愛ランド」に向かいました。到着すると満開の桜並木が出迎えてくれました。

夕食までの2時間あまり、特に指示もなかったため人間文化学科の女子は一室に集まり自己紹介をしました。他の人達は

中庭で遊ぶなど、高校時代の合宿とは違い自由さが新鮮でした。

夕食後は各学科のオリエンテーションがありました。ここでも先輩を含めて自己紹介をしました。意外なことに、男子の人数の方が多かったのでした。

2日目は各学科で履修登録の質問会や、レクリエーションをしました。先輩からは受講しようと考えていた授業の内容な

どを聞くことができました。レクリエーションは、体育並みにグラウンドでサッカーをして汗をかきました。

この合宿で、知り合ったばかりの人との距離も縮まり、大学についても少し知ることができました。短い合宿ではありましたが、私たち新入生にとってはよい体験になりました。

人間文化学科 岡本 美幸

不安から希望へ

この新入生合宿オリエンテーションで、大学生活における不安等は完全になくなりました。初めは何をすれば良いのか、何から始めれば良いのかまったく分りませんでしたが、一緒に参加して下さった先輩方や先生方にアドバイス等をいただき、大学生活での目標や道標ができました。特に、時間割作成では、先輩方に実際に履修した科目についての体験談等を話していただき、とても参考になりました。またクラスメイトとの付き合いについての不

安要素も、この2日間で完全に払拭されました。

自由時間では、自分の出身地や高校時代の話をお互いに紹介し、2日目に行われたオリエンテーリングでは、他愛の無い話をしながら山道を歩いたりしました。とても疲れましたが、最後まで歩ききった後にはとても達成感があり、短い期間でも、とても内容の濃い2日間だったと思います。

この2日間で今までの不安や心配が消え、



次の日から希望や期待に変わりました。このオリエンテーションがあったことはとてもありがとうございました。

工学部 情報工学科
エドアールド トーレス

医療人への6年間の始まり

薬学部の新しい仲間149名は4月8日の午後より先生方18名と共に、1泊2日の日程で玉野スポーツセンターでの新入



生合宿オリエンテーションへと出発しました。

まず、スポーツアワーから始まり、いろんな競技が行われました。この時間を通じて、よそよそしかった新入生同士は打ち解け始め、先生方からは、青空の下これから何を考え行動していくべきであるかをご指導いただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。

夕食後のイブニングセミナーにおいては、担任から授業概要や進級のための必要単位の説明があり、履修登録のための時間割を作成しました。その際、助教の先生か

らは的確なアドバイスをいただき感謝しております。

友人もいない新しい土地に移り住み心細い思いをしていましたが、この合宿により新しい友人と親睦を深められたお陰で、以降は寂しい思いをする事がなくなりました。これから始まる6年間の大学生活は、大きな期待の一方で不安もあります。この仲間と共に日々努力し助け合い、一人でも多くの人々の健康に役立ち社会に貢献できる薬剤師に成長したいと考えています。

薬学部 江本 基樹

リニューアル生命工学部の新入生！

生命工学部の3学科(生物工学科・生命栄養科学科・海洋生物科学科)の今年度新入生合宿オリエンテーションは、三和の森リゾート&カンファレンスセンターにおいて実施されました。

生物工学科では、今年度から実施される新カリキュラムの概要説明から始まり、きめ細かな履修方法についてのガイダンスが行われ、新入生は、興味津々の様子で話を聞いていました。そこには新しくなっ

ていこうとする学科の息吹を感じられました。実際の時間割作成では、新入生は真剣に取り組み、学生同士で相談したり、先生にアドバイスを受けたりと、3年前が懐かしく思い出されました。私たち学生リーダーも新入生の相談に積極的に加わることができ、新入生は、納得のいく時間割の作成ができたと思います。新入生は、同級生全員と一緒に過ごすことで、お互いに仲良くなり、新しい友達をつく

るよい機会となったようです。

早いうちに学生同士や先生と学生の間で交流をもつことは、これから的生活にとって有意義なものになると思います。

また、なんと言っても今年使用された施設は、研修所ならびに宿泊施設ともとても素晴らしい、大学生としての第一歩を歩みだすオリエンテーション、そして生命工学部の新しい船出として最高の環境だったと思います。

生命工学部 生物工学科 池本 ひとみ

地域連携活動

- 地域への貢献 -

びんごモノづくり村



びんごモノづくり村は備後地方の企業と連携し、子どもたちにモノづくりの楽しさを知つてもらい将来のエンジニアの育成を目的として、子ども

機械システム工学科

モノづくり塾(モノづくり教室)、オヤジ塾、モノづくり教育支援事業などを実施しています。本年度は、日本郷土玩具博物館、福山商工会議所、三和の森リゾート&カンファレンスセンターなどで、二足歩行ロボットの製作、ソーラーカーの製作、プログラムロボットの製作、ウインドシップの製作その他のいろいろなモノづくり教室を実施します。また、9月には、クラシックカー・ダッヂを再生して愛媛県道後温泉へ坊っちゃん列車に会いに行く“ダッヂモノづくりバスツアー”も実施します。モノづくり教室は、本学の学生が中心となって教材を開発し子どもたちを指導していきます。

モノづくりやクラシックカーに興味のある学生は、24号館2階機械システム工学科事務室まで。



機械システム工学科 講師 小林 正明

学術講演会開催！

去る5月23日、東京大学医科学研究所教授・同附属病院副院長、森本幾夫博士による「CD26分子のトランスレーショナルリサーチ：難治性癌や自己免疫病への日本発新治療薬の開発をめ

ざして」と題する学術講演会が薬学部・生命工学部の合同主催で1号館大講義室において開催されました。森本教授は、CD26分子によるT細胞共刺激活性化機構の解明と「ヒト化CD26抗体」



東京大学医科学研究所教授・同附属病院副院長 森本 幾夫 先生

薬学部・生命工学部合同

の作成に成功され、その抗体を使って、特に治療方法が確立されていない中皮腫や難治性免疫病への治療法の確立をめざしておられます。動物モデルでの研究で、ヒト化CD26抗体療法が有効なことを確認し、サルなどの靈長類での安全性も克服し、米国、フランスおよび日本での第1相臨床試験を開始したとの内容でした。研究室での基礎研究成果を臨床の場に応用する「日本発の抗体治療薬」の開発に関する壮大な研究成果の過程を傾聴することができました。両学部の4年生・院生はもとより、教職員にとっても刺激ある有意義な講演会でした。なお、本講演会は、宮地尚理事長の発案で実施されたものです。

薬学部 日比野 例

「さん・サンメルマガ」創刊号を発行

高大連携推進室

福山大学は、昨年度までに33の高校・専門学校と「高大連携協定書」を締結してきました。平成20年4月には、高大連携推進室を新設し、一層の連携強化を図っていきます。今までの高大連携は、オープンキャンパスや施設見学、高校へ出向いての出張講義といった、大学側が一方向的に提供するプログラムが多くなっています。今後は、高校生や高校の先生方の意見を取り入れた、双方向型の新しい高大連携を進めたいと考えています。そして、高校生活

に知的興奮を持ち込み、大学進学を希望する若い生徒を応援していきます。燐燐と降り注ぐ太陽のような明るい未来を願って、「さん・サンメルマガ」と命名した創刊号を発行し、年2回の情報発信を続けていきます。「さん・サンメルマガ」のキャラクターも作り、親しみやすい情報発信をこころがけ、高大連携事業を計画する際のヒントになればと願っています。

心理学科 教授 平 伸二



「さん・サンメルマガ」創刊号の表紙

学生の活動

ばら祭りイルミネーション・コンテスト「優秀賞」受賞



夜に輝くイルミネーションの風景



学生による作品設置風景

去る5月10日～17日バラ公園において開催された第41回「福山ばら祭り」のイベント「イルミネーションコンテスト2008」に、本学工学部建築・建設学科

最先端技術を駆使

水上研究室が出品しました。メインテーマは、『テクノロジーって…ファンタジー！』。世界的有名な童話「星の王子さま」をモチーフに、最先端構造技術であるテンセグリティ構造のアルミパイプ球を「バラ」と「星」に見立て、照明を配して、幻想的な作品を作り出しました。期間中は道行く多くの市民の目を楽しませ、市民投票により見事「優秀賞」を受賞し、市長より賞状をいただきました。

工学部 建築・建設学科 水上研究室

「うみねこ」(Good Jam Factory処女作)映像コンクールに入選

2008年6月7日(土)に尾道市のしまなみ交流館(アトロシェルネ)大ホールにて、「環境」「ふるさと」「絆」をテーマに、尾道をモチーフとした「五分間ノ尾道物語り」映像コンテストの本審査が開催されました。メディア情報文化学科の学生を中心とするメディアコンテンツ研究サークル Good Jam Factory が、春休みにメルヘンタッチの映像作品「うみねこ」を企画制作し、このコンテストに応募しました。

地元中国地方をはじめ全国から58件の応募があり、1次審査を通過した15点の作品の中に本学科の学生の作

品がノミネートされました。

本審査は、脚本家・高橋玄洋氏ら審査員と、一般公募による市民委員、ロータリークラブ委員の計110名で審査が行われました。その結果、「うみねこ」は佳作となり、本学3年 住元さんが代表で大会委員長から賞状と賞金をいただきました。

このコンクールは、レベルが高いとの前評判で、プロの映像作家も多く応募していました。全国から腕に自慢の映像作品が58本も集まり、その中で最終審査に残ったということは、大変名誉なことで、苦労して作った甲斐があつ



「五分間ノ尾道物語り」表彰式

たと、みんなで喜びを分かち合いました。入賞作品は次のURLで見ることができます。

<http://www.bbbn.jp/~ohrc/5/05/index.htm>
人間文化学部 メディア情報文化学科
教授 三宅 正太郎

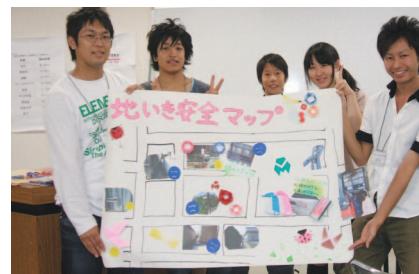
福山市助成金の獲得 「中高校生を指導者とした地域安全マップ作製セミナー」

私たちは、子どもたちの危険回避能力を育てるため、福山市内を中心に多くの小学生と地域安全マップを作製してきました。この活動を通して、私たち自身の自尊心・自己効力感も向上し、この活動にもっと早く出会えていたらよりたくさんの経験が積めていただろうと感じていました。そこで、中高生にもこのような機会を提供しようと思い、「中高生を指導者とした地域安全マップ作製セミナー」を提案し、福山市協働のまちづくりキーワードモデル事業に応募しました。4月27日(日)、書類審査を通過した団体のプレゼンテーションによる二次審査の結果、5月2日付けで福山市長から助成金採択団体として採用されたという通知が届きました。助成金の交付額は満額の30万円であり、8月下旬のセミナーに向けて会場の確保、

指導者の養成、リーフレットやテキストの作製など準備を始めています。

助成金の獲得は昨年に続いて2回目です。昨年は、「高校生を指導者とした地域安全マップ作製セミナー」という事業名で、高校生に小学生を指導してもらいました。このセミナーの前後で実施した質問紙調査から、小学生が危険回避能力を向上させるだけでなく、指導に当たった高校生の自尊心や自己効力感も向上することがわかりました。参加した高校生からは「参加して良かった」、「指導は難しかったがうまくできたから嬉しかった」などの意見をもらいました。

今年は、この活動をもっと幅広い世代に体験してもらうため、中学生にも指導者としての機会を提供します。小学生、中学生、高校生、大学生が集い、中



昨年のセミナー後の高校生と大学生の記念写真

高生が小学生を導くことで、自尊心や自己効力感を向上させてくれることを期待しています。また、小学生、大学生との異年齢交流を通して、人間関係の重要さを理解してくれることも期待しています。このような地域の人間力を育てることが、誰もが住みやすい安心・安全なまちづくりにつながると思います。

人間文化学部 心理学科 高鳥 洋臣

2名が全日本学生剣道選手権大会の出場権を獲得!

第55回中四国学生剣道選手権大会



5月18日(日)に愛媛県伊予市で行われた、第55回中四国学生剣道選手権大会において、黒田真司君が3位入賞、杉山真太郎君がベスト16に勝ち残り、7月6日(日)に大阪府立体育会館で開催された学生剣道選手権大会への出場権を獲得しました。また、黒田君は、同日開催の第55回全日本学生剣道東西対抗試合の西軍メンバーにも選出されました。

香川先生、剣道部の仲間たち

出場者数256名に対し地域代表は16名という狹き門でしたが、私たちは勝負の運にも恵まれ、出場権を得ることができました。これは一重に、剣道部一丸となった妥協のない厳しい稽古の賜物と言え、切磋琢磨した素晴らしい仲間に感謝しています。

主将 経済学部4年 杉山 真太郎
経済学部4年 黒田 真司

3000m障害優勝

第62回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

私はこの大会で3000m障害に出場しました。この種目での三連覇がかかつっていたため、いつも以上にプレッシャーを感じていました。レースは広島大学の選手と一騎討ちとなり、最後一周のところで一度は抜かれましたが、後輩たちの応援に後押しされて、抜き返すことができました。その結果「第77回日本学生陸上競技対校選手権大会」に中四国地区代表として三年連続で出場することになりました。大学院生になってまで部活動を続けられるのは、研究

室の先生方や後輩たちの理解と応援、陸上部の監督による練習に対する助言、また、OBや後輩からの励ましの言葉をいただいたからだと思います。今年こそ決勝に残り、入賞を目指します。そして陸上部としても全日本大学駅伝出場を目指し、部員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

工学研究科 生命工学専攻
博士前期課程2年 正木彬



3000m障害の表彰式（中央：正木）

善行表彰を受賞

社団法人日本善行会は昭和12年に設立され、政治や宗教、思想をこえて明るい社会を作るための善行運動の推進に努めている公益法人です。毎年、春と秋の2回、社会貢献、ボランティア、

人命救助、国際貢献などで功績のあつた個人・団体に対して厳正な審査の上で表彰を行っています。

今回、私たちユースホステル部が受賞した青少年善行表彰の〈公共生活への貢献〉の部門は地域ボランティア活動を長年に渡り続けてきたことを評価するもので、平成2年から我が部が取り組んできた、ふれ愛ランドにおける子供たちとの野外活動(キャンプ、料理作り、レクリエーションなど)への貢献が評価されたことが受



第58回 青少年善行表彰式

賞の機縁となりました。30年も続けてきた恒例行事である小学生とのサマーキャンプや、バラ祭り、ゲタリンピックといった地域行事にもボランティアとして積極的に参加してきました。こうした長期に渡りとぎれることなく行事を継続できたことは、部の精神が先輩から後輩へとしっかりと受け継がれてきたからだと思います。

私は、5月24日(土)東京の明治神宮参集殿にて行われた授賞式に参加しました。300人以上の方々が出席し2時間程度でしたがとてもすばらしい式でした。

今回の受賞を機に今後も活動の幅を広げていきたいと思います。

ユースホステル部部長
生命工学部 海洋生物科学科 加藤 仁宏

ダーウィン生誕200年

-進化を考える-

生物工学科

進化とは何か? 例えば、「料理の腕は確実に進化している」とか「数年後、進化した自分を見てくれ」とか「お座り、はいはい、つかまり立ち。息子はどんどん進化している」とか、これらは巷でよく聞く進化の使い方ではないだろうか。

進化は進歩か? 英語で進化は evolutionだが、「進化」という訳の他に「展開」、「進展」、「発展」など、「進歩」を感じさせる意味がある。確かに生物はさまざまな環境に応じてうまくデザインされた形態や生態を持ち、多様な適応を見せてくれる。それぞれの環境に合わせて目的を持って進歩したように感じられなくもない。しかし、本当にそうであろうか?

突然変異に目的はあるか? よくある誤解は、環境に合わせて都合の良い突然変異が生じるといったものであるが、実際には突然変異はランダムに生じ、個体に生じたこの無目的な変異が進化の素材となる。では、この変異はどのように集団全体に広まるのか?

「佐藤君、進化の仕組みには何がある?」学部時代のボスの質問である。超がつくほど勉強不足だった私には答えることができなかった。例えば、ヒトとチンパンジーの違いはどのような過程で形成されたのかといった質問である。その変化に意味があるのか、それともただの偶然なのか。これが質問に対して考えるべき要点だった。「正の自然選択と遺伝的浮動です。」これが正しい答えである。

環境に有利な変異が自然により選択され、集団中で世代ごとにその頻度を増す。これがチャールズ・ダーウィンの考えた正の自然選択の原理であり、美しい適応を創り出す仕組みである。一方で、環境に有利でも不利でもない変異も偶然により集団に広まる。これを遺伝的浮動と呼ぶ。木村資生により理論化された中立進化のメカニズムである。つまり、ランダムに生じた突然変異の中で、有利な変異と運の良い変異が集団全体に広まり、集団としての変化に至る。これが進化の仕組みであ



水かきなど水生適応を示すラッコ

る。進化とは目的や進歩が介入することのない機械的な変化なのだ。

個体は進化するか? 親が一生懸命筋肉を鍛えても子供には伝わらない。つまり個体の一生のうちに獲得した形質は遺伝しない。したがって料理の成長に「進化」は使えないことになる。進化の主体は個体ではなく集団なのだ。

以上のような現代生物学における進化の考え方は高校の教科書にも登場するようになったが、まだまだ一般的ではない。進化の理解は私たちの生物の知識をより豊かにしてくれるのだが・・・

生命工学部 生物工学科
助教 佐藤 淳

教 ◀ 育 ◀ ① ◀ 今 ◀

国際学会で発表しました



フェアモントエンプレスホテルの夜景

5月12日から15日まで、カナダのビクトリアで行われた、IEEE(米国電気電子学会)主催のI²MTC(International Instrumentation and Measurement Technology Conference)に参加しました。

参加を打診された時、中学、高校と英語をさぼってきた私にとって、論文執筆や発表の準備は、とても越えられそうもない壁のように感じました。しかし、またとない機会を簡単に諦められず挑戦することにしました。

私はレーザ光線を用いたメタンや二酸化炭素などの温室効果ガス濃度の非

接触計測装置の開発を行なっており、測定精度向上のためのノイズ抑圧手法に関する研究を指導教員と共にまとめました。

論文はポスター発表での採択となり、心血を注いで制作したポスターと不安を胸に日本を発ちました。

会場のフェアモントエンプレスホテルは荘厳な外観で観光名所としても名高く、身の引き締まる思いがしました。そこにはさまざまな国籍と年齢の研究者が集っており、休憩時間には何人かの若い研究者が話しかけてくれ、楽しく貴重な時間を過ごしました。

さて、我々のポスター発表は私の予想以上の関心を集め、有益な助言や質問を数多くいただきました。ただ、質問に対して真意を正確に伝えられず、非常にもどかしい思いをしました。一方で聴講した口頭発表には引き込まれるものが多くありました。それらに共通したのは、講演者がお国訛りに頓着せず、



ポスター発表

工学研究科 電子・電気工学専攻

成果や考えを日々と述べていたことであり、大変刺激を受けました。

今回の経験は、挑戦する気概を持たせてくれました。また、プレゼンテーションとは、伝えたいと思う熱意とそれを楽しむことであると学びました。

最後になりましたが、論文と発表の準備において多くのご指導を賜りました香川教授、ならびに学科の先生方に感謝します。

工学研究科 電子・電気工学専攻
2年 周藤 正樹



発表を終えてセッション会場前で香川教授と

経済学部では本年度より、海外インターンシップ制度を開始しました。海外インターンシップは、経済学部の学生が海外で積極的な事業展開を行っている地元優良企業の海外拠点で短期の実地研修を行うものです。

現在はグローバリゼーションの時代と言われるように、多くの企業が何らかの形で海外との関わりを持っており、備後地区の企業も例外ではありません。国際経済学科では国際ビジネス関連授業の充実を図っておりますが、やはり「百聞は一見にしかず」であり、海外での実体験は若者を飛躍的に成長させます。豊かな吸収力が若者の特権なのです。しかしながら、地方大学の学生にとつて海外研修の機会は限られています。何とか福山大学の学生にその機会を与えるとの思いが、地元企業(株)サンエスの全面的なご協力を得て実現に至りました。

今年の海外インターン・シップは(株)サンエス昆山(中国江蘇省、約600名の従業員が半導体や複写機部品などを製造)において8月3日~10日に実施され



サンエス昆山（蘇州）

ます。月～金の9時から5時まで他の従業員とともに勤務し、海外進出企業の業務を肌で学びます。派遣日本人社員から中国事業の実情や、会社のグローバルな戦略などの説明を受ける機会もあるので、研修体験と相俟って、教室の授業だけでは得られない日本企業の海外活動の現実が実感を持って理解できます。また、現地従業員との交流も大事です。中国語ができなくても同じ釜の飯を食べた仲間として、互いに理解を深め、これから的人生に新鮮な刺激を与えてくれることでしょう。昼食は社員食堂で一緒にとることになっています。

研修期間中の通勤について心配があるかもしれません、これも(株)サンエスのご好意で日本人社員が通勤車に

同乗させてくれるので安心です。夕食は日本人社員を囲み、リラックスしながら昼間とは違った興味深い話が聞けるでしょう。研修成果を挙げるために事前勉強会と帰国後のレポート提出を行い、研修終了後には4単位が認定されます。

せっかく中国まで行くのですからこの機会に見聞を広めることも大切です。昆山は熱気溢れる上海や風光明媚な蘇州の中間に位置しているので、研修終了後の土日を利用してこれらの都市を観光することも予定しています。

このように海外インターンシップにはさまざまな機会が盛り込まれており、この体験が参加者の今後の大きな財産になると確信しています。

経済学部 国際経済学科 富士 彰夫

平成20年度科学研究費補助金

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付決定金額)

★特定領域研究

◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授
枯草菌炭素代謝制御ネットワークの物質產生系への有効活用 (400万円)

★基盤研究B

◎松田 文子 人間文化学部 教授
心理的時間の形成とゆがみに関する実験的研究 (340万円)

★基盤研究C

◎青野 篤子 人間文化学部 教授
ジェンダー・フリー保育の効果に関する研究 (90万円)
◎梅田 真三郎 工学部 教授
マイクロミストを含む安定流体膜形成時の混相流界面における流れの可視化研究 (120万円)

◎無漏田 芳信 工学部 教授
従来型特養へのユニットケア普及のための住環境改善マニュアルに関する研究 (170万円)

◎平 伸二 人間文化学部 教授

P300による虚偽検出の実務導入に向けた諸問題の検討 (150万円)

◎小野 太幹 人間文化学部 准教授
非線形偏微分方程式に対するボテンシャル論的研究 (130万円)

◎福長 将仁 薬学部 教授
ミトコンドリアゲノム解析によるダニ類の系統と進化の解明 (120万円)

◎岩本 博行 生命工学部 教授
デンプン糖化工程の効率化をめざした枝切り酵素の構造機能解析と機能改変 (190万円)

◎日比野 例 薬学部 教授
MW照射下電子環状反応による生理活性ペングフェナンスリジン類の新規合成法の開発 (120万円)

★若手研究B

◎橋本 優花里 人間文化学部 准教授
高次脳機能障害のための配信型認知リハビリテーションの開発と評価に向けて (60万円)

◎五郎丸 剛 薬学部 講師

抗がん剤パクリタキセルによる過敏反応の発現機序解明と予防薬の探索 (100万円)

★研究成果公開促進費(学術図書)

◎松田 文子 人間文化学部 教授
COMPARISON OF DEVELOPMENT BETWEEN TEMPORAL AND SPATIAL CONCEPTS (70万円)

★特別研究員奨励費(外国人)

◎澁谷 博孝 薬学部 教授
外国人特別研究員 PENG, Q (100万円)

第8回生命工学部公開授業開催 テーマ「健康とバイオ」

6月7日から7月12日にわたって生命工学部公開授業が開催されました。本授業は本学生命工学部と「福山バイオビジネス交流会」とが共催し、中学生、高校生、大学生、一般および企業の人たちに生命科学に関するさまざまな話題をわかりやすく解説することで生涯学習の振興と地域経済に大きく寄与することを目的として続けているものです。

8回目となる今回は「健康とバイオ」をテーマに、3回の授業(会場:備後および井笠地域地場産業振興センター、本学1号館)と1回の公開実験(会場:本学17号館)が開かれました。参加者は希望する授業を聴講したり、自分の好きな実験テーマに取り組みました。

第1回の授業では、山口教授が今話題の人工多能性幹細胞(iPS細胞)を始め、幹細胞の特徴とその幹細胞を用いた再生医療の将来と問題点について、ユーモアを交えながらわかりやすく話しました。続いて菊田教授が食の安全に関わる問題について実例を挙げながら解説し、今年度から実施される社会連携



第1回の授業風景

研究推進事業(化学・生物総合管理学)の取り組みについて紹介しました。第1回の授業では当日参加を含め、約40名が参加し、活発な質疑応答があり、授業終了後も熱心に質問される受講者の方々の姿がみられました。アンケート調査の結果から「わかりやすかった」、「興味がわいた」、「食育を学びたい」、「今後も

続けてほしい」などの感想、要望があり、概ね好評であったことがうかがえます。

今後も地域の皆様にこのような活動を通して生命科学の分野をもっと身近に理解していただけるよう努力をしていくつもりです。

生命工学部 教授 三輪 泰彦

第3回福山大学薬学部OSCEトライアル実施について

客観的臨床技能試験 (Objective Structured Clinical Examination; OSCE、オスキー)は、薬学部の学生が病院や薬局などの医療現場で実習を行うだけの技能と態度を有しているかどうかをチェックする試験です。OSCEでは、病院や薬局に勤務する薬剤師が評価者として参加することや、学生が模擬患者とロールプレイを行うという課題が予定されていることなど、薬学部教員以外の多くの協力者が必要となります。

福山大学薬学部では、昨年第2回のOSCEトライアルを実施しましたが、OSCE評価者および模擬患者の養成を主目的として、3回目のOSCEのトライアルを6月22日(日)に実施しました。今回は、午前中にDVDなどを使用して評価方法のトレーニングを行い、午後から、参加者自身が模擬薬剤師や評価者となってOSCEの課題や評価について体験した後、疑義照会、調剤監査、薬剤交付の3つの課題について、72名の評価者(外部評価者57名、内部評価者

15名)が評価を行いました。また、このトライアルに向けて模擬患者養成講座を開講し、この養成講座を受講していただいた4名の一般市民の方に、薬剤交付の課題に模擬患者として参加していただきました。この4名の方のご協力に心から感謝申し上げます。

在学生の協力のもとに行うOSCEトライアルは、基本的に今回が最後となります。今後は、評価者養成講座や模擬患者養成講座を実施していく、本番に向けて万全の準備をしていく予定です。

薬学部 准教授 田村 豊



OSCEトライアル風景

クラブハウス(清倫館)竣工

福山大学クラブハウスが去る5月13日にリニューアルして、竣工式を開催しました。当日は宮地理事長、吉原副学長、濫谷学生委員長、学友会代表多くの学生が参集し、宮地理事長の挨拶があり、テープカットの実施、サークル室の公開など盛大の裡に終了しました。

現在、福山大学学友会サークル活動は、体育系30、文化系33のクラブ及び数多くの同好会も組織され、キャンパス内外で連日、学生達が青春を過ごしております。

老朽化したクラブハウスを今回リニューアルし、年々活発化しているサークル活動に伴い、部室や会議室を増設し、冷暖房をも完備して、学生たちの快適なキャンパスライフの支援に努めています。

今年度もさまざまな学友会行事や恒例の第34回福山大学大学祭(「三蔵祭」10月17日(金)～20日(日)を予定)、各クラブの公式試合や学内外の諸行事への参加などが控えており、その企画等々で連日学生たちの元気な声が聞こえています。



新しいクラブハウスを見学する学生たち



竣工式の風景

学生たちの益々の活躍を期待するとともに、施設等環境整備に努力したいと思います。

四川大地震の募金へのご協力ありがとうございます

5月12日の中国四川省での大地震に、心を痛めた留学生が募金をしたいと申し出てきました。留学生会長の李丹丹さんを中心に、5月20日から27日までの間、大学内では5日間、何十人の留学生が募金活動に参加しました。福山駅前では5月24日午後1時から4時まで、学生10名余りと対外経済貿易大学からの客員教員、郭徳玉先生が参加しました。

留学生会は大学内外で合計473,922円を集めることができ、初日の5月22日には、多くの教職員、学生の積極的な募金への協力により、22万円も集めることができました。「また、国際経済学科の日本人学生に1万円も協力してもらったことにはとても感激しました。」これほど多くの善意の協力は、留学生にとり予想外のことであったと



思います。また、福山駅前では、福山駅長さんも応援してくださり、協力してくれた多くの日本人の中には、小さい子ども達や、お小遣いから協力してくれた中高生も少なくありませんでした。頑張りなさいと、チョコレート1箱くれた中年の婦人もいました。李丹丹会長は、「善意には国境がないと思った。日本人の優しい気持ちに感激した。」

と語ってくれました。

留学生たちは、今回の募金活動を通じて、多くの善意の募金を集めることができ、祖国の被災者の支援に役立てることができたばかりでなく、貴重な体験となりました。

留学生センター長 大久保 勲

中華人民共和国駐大阪領事館に救援金を届ける!



中華人民共和国 駐大阪領事館 劉 雲清 領事(右) 福山大学 平 伸二 教授(左)

5月12日、中国の四川省において発生した大地震についてその広範かつ甚

大な被害について日本でも連日のように報道されています。

福山大学は、対外経済貿易大学(中国)をはじめ7大学等と学術交流協定を締結するとともに北京に教育センターを設置し、本年4月には福山大学孔子学院を開設する等、中華人民共和国とは深いかかわりと友好関係にあります。福山大学・福山平成大学では各学部事務室等に救援金箱を設置し、全学的に教職員から救援金を募るとともに、留学生も募金活動を実施し多額の救援金が寄せられました。

そうして集まった救援金を、6月17日に本学心理学科の平 伸二教授及び職員2名で中華人民共和国駐大阪総領事館の劉雲清領事にお渡しし、同領事館から感謝状をいただきました。

施設のご案内

心身に気をつけて、夏を元気に乗りきりましょう！

健康管理センター

【春期健康診断の報告】

学生健康診断を4月4日からの6日間、1・2・4年次生と大学院生を対象に実施しました。受診率は、1年次生81%，2年次生73.9%，4年次生91.4%，大学院生80.7%，全体で82.4%でした。昨年より増加しましたが、2年次生が減少しており、自分の健康管理に関心を持って積極的に受診してもらいたいと期待しています。教職員健康診断は、5月20日から3日間実施し、234名の受診があり、受診率81.3%，未受診率15.1%でした。特定検診が始まり健康への関心が高まつたようです。

【カウンセラーが常駐しています】

健康管理センターでは、福山大学の皆さんの悩みや困りごとの相談に応えたり、今後の成長の手助けのために、カウンセラーが常駐しています。



健康管理センターのスタッフです

困ったときに、自分で考える、他の人をうまく頼るなどの適切な対処をすることは、自分や自分にとって大事な人たちのために価値あることだと思います。カウンセリングもその対処の一つです。

また、悩みに対処することが逆に成長の機会になることも多く、カウンセラーはその手助けをするという視点で関わります。その意味で、自分を知るために心理テストや、人付き合いに役に立つワークなども、希望により行っています。

どうぞ気軽に利用して下さい。

図書館で確かな情報を！

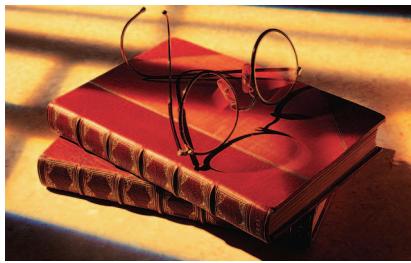
図書館

本学には本館と、薬学部生の利用を主とした分館の2つの図書館があります。
図書館では主に次のようなサービスを提供しています。

- (1) 学部関連図書や資料の収集
- (2) 図書資料の貸出返却
- (3) 研究についての相談(レファレンス)
- (4) 他機関との連携(相互協力)
- (5) 研究場所の提供

(1)(2)については学部関連図書・資料の充実・提供に心掛け、(5)については勉強しやすい環境作りにも心掛けています。なお、友達数人で部屋を借り、グループでの学習もできます。(3)のレファレンスについては、研究を進めていく上でのアドバイスや助言を行っています。論文の作成方法から、資料の探し方、それに伴う関連資料の紹介まで、幅広く手助けします。また図書館では、研究者(含学生)が情報収集に困らないよう、世界規模でネットワークを組み研究活動を応援しています。それが(4)の「相互協力」です。本学では平成18年度は2800件の利用だったのに対し、昨年度は3400件と大幅に増加しました。また、学生からの図書購入希望申込も平成18年度58件から昨年度106件、本年度は6月現在で既に100件を超す申込があり、大幅な伸びを見せてています。

事務長心得 桑田 成年



○開館時間について

開館時間	本館	分館
平 日	8:30～19:30	8:30～19:30
土曜日	8:30～16:30	8:30～15:00

○貸出について

	1～3年生	4年生	院生
冊 数	3冊	5冊	10冊
貸出期間	2週間		1ヶ月

海外留学、語学検定に積極的に参加しよう！

留学生センター



留学生センターは2006年4月に発足しました。留学生センターの主な業務は、(1)日本語・日本文化に関する教育(2)修学上及び生活上の指導助言(3)地域の国際交流に関すること(4)海外留学希望者への指導助言

このほか語学検定試験受験のPR活動を行っています。

本学に学ぶ外国人留学生は年々増加の一途を辿り、2008年5月1日現在は合計172名に達しています。内訳は学部生が170名、大学院生が1名、研究生が1名です。国別には中国163名、韓国2名、タイ2名、ベトナム1名、ケニア1名、ペルー1名、モンゴル1名、ブルガリア1名となっています。学部別では経済学部93名、人間文化学部59名、工学部18名となっています。教員は専任講師1名、非常勤講師2名、併任

教員12名となっています。

日本語教育では、1年次前期に集中教育を行い、卒業までに日本語能力試験1級合格を到達目標としています。後期を中心に補習教育を行なっていますが、結局は日頃の地道な努力が大切です。また、留学生は、地域のボランティア活動にも積極的に参加し、5月には四川大地震の募金で大きな成果をあげました。

日本人学生の海外留学では、日本学生支援機構の短期留学推進制度で2名の学生が米国留学の夢を実現したほか、中国の協定校への交換留学生も増えています。語学検定ではTOEIC、中国語検定は学内で受験できますので、大いにご活用ください。

留学生センター長 大久保 熊

高校生CMコンテスト 人間文化学部 メディア情報文化学科

人間文化学部メディア情報文化学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第3回高校生CMコンテスト」を開催します。

今年のテーマは「全国にアピールしよう！あなたのまちのエコ」。地域や学校の環境保全活動、生活の中で実践しているエコロジカルな取り組み、全国に自慢したい地元の自然環境などを紹介してもらいたいと思います。

ビデオで撮影・編集した作品を募集する「映像作品の部」は、授業や部活などにおける表現活動の成果を示す好機となることを期待しています。絵コンテに企画をまとめる「企画コンテストの部」は、映像制作の設備を持っていない高等学校であっても、気軽に参加してもらうことができる部門です。

詳しくはウェブサイトをご覧下さい。

[http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/media/cm2008/。](http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/media/cm2008/)

お問い合わせは、人間文化学部事務室

☎084-936-2112(内線2223)もしくはcm2008@fuhc.fukuyama-u.ac.jpまで。



「第2回高校生CMコンテスト」の表彰式

三蔵祭の期間中には、受賞作品の上映・展示と表彰を予定しておりますので、どうぞご期待下さい。

「友だちにすすめたい本」 コンクールの応募作品の 募集始まる

人間文化学部 人間文化学科

人間文化学科では、高校生を対象に、自分が感動した本を友だちにも勧め、その感動を分かち合うという趣旨で、「友だちにすすめたい本」コンクールを始めることになりました。活字離れが社会のさまざまな所で問題にされています。また、インターネット社会の進展により、人間関係の希薄化も進んでいます。じっくりと本に向かい、そこに生まれた感動を丁寧な言葉で表現することによって、ゆっくりと感動の波を拡げて社会の絆を深めて行ければと願っています。三蔵祭の期間中に、表彰式を行います。

「本の対象」 小説、エッセイ、童話、詩など、ジャンルを問いません。

応募資格 高校生

応募方法 所定の用紙に400字以内

審査委員 牟田泰三(本学学長、審査委員長),

磯貝英夫(ふくやま文学館館長), 他、本学教員

表彰 個人賞 最優秀賞 賞状・副賞(図書カード1万円分)

優秀賞 賞状・副賞(図書カード5千円分)

佳作賞 賞状・副賞(図書カード1千円分)

学校別審査員賞 各校5篇 賞状

団体賞 学校賞2校 賞状・トロフィー

発表 入賞作品および応募作品の一部は、

冊子として印刷し出版します。

応募先 ☎729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学 人間文化学部 人間文化学科

「友だちにすすめたい本」コンクール係

詳しくはウェブサイトをご覧下さい。

<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/hc/index.htm>

お問い合わせは 人間文化学部事務室 ☎084-936-2111(内線2222)もしくは、
sigesako@fuhc.fukuyama-u.ac.jpまで。



福山大学人間文化学部人間文化学科
Designed by Shouichi Naguchi

“新しい風に乗って” 『教育懇談会開催』

福山大学では、開学以来教育懇談会を実施しています。大学を拠点に東は名古屋、西は福岡と西日本を中心に、開催します。好評を博している担任、学科教員との懇談、土日開催などを今年も導入しています。教務、学生、就職等の全体説明もあります。さらに各学生の前期までの成績・単位取得状況、今年の履修科目への出席状況などを保証人と教員が膝を交えて懇談します。

是非、会場へ足をお運び下さい。

○日程 開催地・会場

○8月23日(土)

福岡:福岡ガーデンパレス

○8月24日(日)

高松:高松東急イン

松江:松江東急イン

○8月26日(火)

小郡:山口グランドホテル

○8月30日(土)

松山:松山東映ホテル

岡山:まきび会館

○8月31日(日)

姫路:姫路キャッスルホテル

広島:広島ガーデンパレス

○9月2日(火)

大阪:大阪ガーデンパレス

○9月4日(木)

名古屋:名古屋ガーデンパレス

○9月6日(土)・7日(日)

福山:福山大学

学務部 教務課

福山大学公開講座 「安心・安全な暮らし(3)」

平成20年度は昨年度に引き続き「安心・安全な暮らし」を統一テーマとして、福山・三原の両会場で、9月から11月にかけて開催します。グローバル化と個人金融資産の運用、退職後の人生、自然災害、食の安全性、生活習慣病や医療保険制度改革など、私たちの財産・生命の安全を脅かし、心を不安に陥れている出来事に枚挙の暇はありません。本講座で近未来の社会や生活の姿を理解していただき、不安解消のお役に立てればと願っています。また、本年度は新学長の特別講座も実施いたします。

公開講座委員長 井上 矩之

公開講座の概要

第1話(特別講座)「宇宙の中の人類」

牟田 泰三(学長)

福山9月20日(土),

三原9月17日(水)

第2話「外貨預金の危険性」

尾田 溫俊(経済学部 准教授)

福山9月27日(土),

三原9月24日(水)

第3話「ギリシャ・ローマ時代における

高齢者像」

丹藤 浩二(人間文化学部 教授)

福山10月4日(土),

三原10月1日(水)

第4話「自然災害のはなし

—自分の命を守るために—」

千葉 利晃(工学部 教授)

福山10月11日(土),

三原10月8日(水)

第5話「健康食品は安全といいきれるか？」

渡邊 誠(生命工学部 教授)

福山10月25日(土),

三原10月15日(水)

第6話「生活習慣病から介護へ」

古野 浩二(薬学部 教授)

福山11月1日(土),

三原10月22日(水)

国際交流瓦版

◎Praew Boonbitakwongさん(人間文化3年・タイ)が本学姉妹校カリフォルニア大学リバーサイド校へ8ヶ月間(4月～12月)留学。(2月26日)

◎Krumova Tsvetelinaさん(人間文化4年・ブルガリア)徳洲会国際奨学財団奨学生に採用決定(4月1日)

◎中国文化と中国語の普及を目的に、中国政府の孔子学院本部と福山大学との共同で設立した福山大学孔子学院開所式典を開催。式典には海外から協定校の上海師範大学李進学長、対外経済貿易大学楊言洪外語学院院長らが出席。本学留学生の代表として留学生会会长趙文岐さん(国際経済4年・中国)が出席。于秀英さん(国際経済3年・中国)、程東野さん(国際経済3年・中国)、秦瑩瑩さん(国際経済3年・中国)、王媛さん(国際経済3年・中国)、徐海萍さん(国際経済3年・中国)も出席。本学の学友会管弦楽団も上海師範大学音楽学院楽団と協奏。本学では観桜会を開催。(4月4日)

◎新入生を迎えて、留学生総数8ヶ国、172名。中国163名、モンゴル1名、韓国2名、タイ2名、ベトナム1名、ケニア1名、ペルー1名、ブルガリア1名。(4月6日)

◎タイ文化研究会「サナーム・ナームジャイ」主催、明淨寺(府中市)にて旧正月を祝うタイの伝統行事、第1回ソンクラン祭「水かけ祭り」にMingchua Tatsaneeさん(人間文化4年・タイ)参加。日タイで地域交流。

- (4月12日)
- ◎'08年度新留学生会会长に李丹丹さん(国際経済2年・中国)、副会長に于秀英さん(国際経済3年・中国)、鳥都格奇さん(人間文化2年・中国)、趙岩さん(メディア情報2年・中国)、于博宏さん(情報工2年・中国)信任。(4月16日)
- ◎(財)八幡記念育英奨学生に呼格吉樂國さん(メディア情報4年・中国)が採用決定。(4月17日)
- ◎平成20年度渋谷育英会・小丸奨学制度目録贈呈式を開催。小丸法之渋谷育英会会长が金鑫さん(国際経済4年・中国)ほか28名の奨学生に目録を授与。小丸奨学金給付に宮地尚理事長が謝辞。(4月28日)
- ◎湖南大学(中国)章婉副学長ら6名の関係者が来訪。両大学間の学術教育及び研究交流に関する相互交流について牟田泰三学長、吉原龍介副学長との意見交換。今後、前向きに相互に学術交流を推進することについて合意。(5月14日)
- ◎'08年度留学生新入生歓迎会を留学生が開催。新入生を囲んで在学生、教員ら63名が出席し、歓談。(5月24日)
- ◎(財)熊平奨学文化財団認証式並びに懇親会に王喜苓さん(人間文化4年・中国)、朱雪鳳さん(情報処理工4年・中国)、李丹丹さん(国際経済2年・中国)3名全員、服部進教授が出席。
- (5月26日)

2008年度留学生新入生歓迎会報告

2008年6月3日

2008年度留学生新入生歓迎会は5月24日(土曜日)にバイキングで行いました。経済学部の掛江先生、尾田先生、小林先生、井上先生、郭先生及び人間文化学部の松田先生、丹藤先生と税務会計学科の泉先生8人の先生と在校生20名、新入生35名、計63人参加しました。留学生会会长李丹丹さんは挨拶をしました。



リーチがかかったかどうか確認しています



歓談しながらゲームします

新入生は肉を焼きながら先生と先輩たちとよくコミュニケーションがきました。歓迎会場では全員でbingoゲームをし、記念品に当たる人も当たらない人も笑顔でした。

学友会短信

【陸上競技部】

●5月9日～11日 第62回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 3000mSC 優勝 正木彬(大学院工学研究科2年) 10000m 第3位 東克幸(経済4年)
※3000mSCで優勝した正木彬選手は9月に行われる天皇賜杯第77回日本学生陸上競技対校選手権大会の出場権を獲得しました。

【硬式野球部】

●4月5日～5月19日 平成20年度中国六大学野球春季リーグ戦 第4位 ベストナイン 遊撃手 佐古田裕紀(経済4年)

【サッカー部】

●5月24日～6月1日 2008年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会 第3位

●6月21日～8月24日 2008年度全広島サッカー選手権決勝大会

【軟式野球部】

●5月26日～30日 平成20年度西日本地区学生軟式野球春季リーグ戦 第6位

【剣道部】

●5月19日 第55回中四国学生剣道選手権大会 第3位 黒田真司(経済4年) ベスト16 杉山真太郎(経済4年)
※黒田選手と杉山選手は7月5～6日に行

われた第56回全日本学生剣道選手権大会の出場しました。

●5月23日～25日 第53回西日本学生剣道大会 ベスト16

【柔道部】

●5月17日 第40回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 出場

●5月24日 平成20年度中国四国学生柔道優勝大会 出場

【空手道部】

●5月13日 第32回中四国学生空手道選手権大会 出場

【ソフトテニス部】

●5月2日～6日 第30回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 2部リーグ 出場

●6月1日 平成20年度広島県知事杯ソフトテニス大会

【バスケットボール部】

●4月1日～7月末日 2008年度中国学生バスケットボール春季大会 出場

【ユースホステル部】

●2008バラ祭り ボランティア 参加

●5月24日 平成20年度春季善行表彰

【卓球部】

●5月23日 第59回中国学生卓球選手権春季大会 II部 第5位

【弓道部】

●4月18日～20日

第41回中国学生弓道競技大会 出場

●7月6日 第15回弦道弓道大会(本学にて) 【ポート部】

●5月2日～6日 第61回記念朝日レガッタ出場

●5月11日 第63回広島レガッタ 出場

【ボウリング部】

●5月16日～18日 NHK杯争奪第42回全日本選抜ボウリング選手権大会 出場

【吹奏楽部】

●5月11日 第45回「ゼノ」創立記念うんどう会 出演

【演劇部】

●5月30日 第16回定期公演「リリー・ベルのために」

【ダンス部】

●5月11日 JFE西日本フェスタ in ふくやま 出演

【ロボット研究会(モノづくり研究会)】

●5月3日 ひろしまフラワーフェスティバル手づくり 体験コーナー

●5月17日 モノづくり教室

【三蔵太鼓打つ会】

●4月28日 シャイニング福山まつり 出演

【フットサル同好会】

●5月25日 Sunday Specialリーグ 優勝

【学友会執行部】

●5月15日 春季学長杯争奪競技大会

●6月5日 春の献血キャンペーン

平成21年度 入学試験の概要

平成21年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。この他指定校入学試験を実施しています。

詳細については入試広報室までお問い合わせ下さい。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験(第Ⅰ期)	(エントリーシート提出期間) 平成20年8月1日(金) ～9月10日(水)	平成20年10月11日(土)	平成20年10月15日(水)
A O 入学試験(第Ⅱ期)	(エントリーシート提出期間) 平成20年9月18日(木) ～10月14日(火)	平成20年11月22日(土)	平成20年11月26日(水)
A O 入学試験(第Ⅲ期)	(エントリーシート提出期間) 平成20年10月21日(火) ～11月17日(月)	平成20年12月20日(土)	平成20年12月24日(水)
推薦入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成20年10月15日(水) ～11月4日(火)(必着)	平成20年11月6日(木) 平成20年11月7日(金)	平成20年11月12日(水)
推薦入学試験(B日程)	平成20年11月25日(火) ～12月9日(火)(消印有効)	平成20年12月12日(金)	平成20年12月16日(火)
前期入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成21年1月5日(月) ～1月27日(火)(消印有効)	平成21年1月31日(土) 平成21年2月1日(日) 平成21年2月2日(月) 平成21年2月3日(火)	平成21年2月7日(土)
前期入学試験(B日程)	平成21年2月4日(水) ～2月16日(月)(消印有効)	平成21年2月19日(木)	平成21年2月23日(月)
後期入学試験	平成21年2月20日(金) ～3月11日(水)(消印有効)	平成21年3月14日(土)	平成21年3月17日(火)
センター試験利用入学試験 (前期日程)	平成21年1月5日(月) ～1月27日(火)(消印有効)	個別学力試験は課さない	平成21年2月14日(土)
センター試験利用入学試験 (後期日程)	平成21年2月20日(金) ～3月11日(水)(消印有効)	個別学力試験は課さない	平成21年3月17日(火)

※試験日自由選択制とは、上記試験日のの中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

- A O 入試(第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅲ期)【福山(福山大学)】
- 推薦入試(A日程)【11/6・11/7 福山(福山大学)・広島・福岡・岡山】
【11/6 鳥取・高知・徳島・大阪】 【11/7 小郡・松江・松山・高松・神戸】
- 推薦入試(B日程)【福山(福山大学)・広島・小郡・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】
- 前期入試(A日程)【1/31～2/3 福山(福山大学)・広島・小郡・福岡・岡山】
【1/31 鳥取・徳島・京都】 【2/1 米子・高松】 【2/2 高知・静岡】
【2/3 松山・神戸・名古屋】 【1/31・2/1 大分・長崎・東京】
【2/2・2/3 松江・鹿児島・熊本】 【2/1・2/2 大阪】
- 前期入試(B日程)【福山(福山大学)・広島・岡山】
- 後期入試 【福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記

今回は、本学の高い就職率の特集、学生のサークル活動、国際学会での発表、教員の研究、地域貢献のほか、中国四川大地震への救援金協力や海外インターナショナルなど国際的に拡がる活動が多角的に分かるように編集しました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213